

京地どりのブランド力向上に向けた試験

～飼料中の栄養水準が腹腔内脂肪及び脚弱に及ぼす影響～

京地どりは京都府が作出したオリジナルの地鶏であり、令和 2 年度に生産性向上を目的にリニューアルを行い、肥育期間の短縮、生産コストの削減を実現しました。一方で、メスの腹腔内脂肪蓄積による歩留まり率※¹ 低下、オスの脚弱※² 発生による商品化率低下が現場における新たな課題です。

当センターでは今年度、飼料中のエネルギー/タンパク質水準を変えてメスの腹腔内脂肪を低減、カルシウム/リン水準を変えてオスの脚弱を低減させる試験を実施しています。

今後は、本研究成果をもとに京地どりの栄養水準に適合した飼料給与体系を検討するとともに、「京地どり飼養管理マニュアル」の改定及び現場への普及を進め、京地どりのブランド力向上を目指します。

※1 歩留まり率:鶏の体から実際に精肉として利用できる部分の割合

※2 脚弱:ビタミンやミネラル類の不足、急激な体重増加等により脚の変形や歩行障害が発生する症状



京地どりメスの腹腔内脂肪



京地どりオスの脚弱